

## 第66回 経営協議会 議事要録

日 時 平成31年1月31日（木）13時30分～15時30分

場 所 事務局第二会議室

出席者 澤 和樹 学長、栗原 靖 理事  
日比野克彦 美術学部長  
桐山孝司 大学院映像研究科長

石田義雄 委員、中村胤夫 委員、福井俊彦 委員  
滝 久雄 委員、高階秀爾 委員、谷口維紹 委員

陪 席 浜田健一郎 監事、金井 満 監事

安良岡章夫 理事、保科豊巳 理事  
光井 涉 副学長、岡本美津子 副学長  
佐野 靖 学長特命（社会連携担当）  
北郷 悟 学長特別補佐（上野文化の杜担当）  
八反田 弘 学長特別補佐（渉外担当）  
箭内 道彦 学長特別補佐（広報・ブランディング戦略担当）  
松下 計 附属図書館長、秋元雄史 大学美術館長

欠席者 遠山敦子 委員、迫 昭嘉 音楽学部長  
国谷裕子 理事、熊倉純子 大学院国際芸術創造研究科長

○ 議事に先立ち、議長から、新たに陪席者となった者の紹介があった。

- ・ 八反田 弘 学長特別補佐（渉外担当）
- ・ 箭内 道彦 学長特別補佐（広報・ブランディング戦略担当）

議題

なし

報告及び連絡事項

1. 平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果について  
標記のことについて、栗原理事から資料に基づき報告があった。
2. 平成31年度国立大学法人運営費交付金の概要等について  
標記のことについて、栗原理事から資料に基づき報告があった。
3. 音楽とアニメーションの調べ in L.A. 東京藝大 × USC  
標記のことについて、岡本副学長から資料に基づき報告があった。

#### 4. その他（本学の取組みについて）

○ 澤学長から、芸術文化における本学の近況について報告があった。

（本学の取組み）

- ・ 2018/11月 東京藝術大学ゲーム学科（仮）「第0年次」展の開催
- ・ 2018/11/16 「コミテコルベール アワード2018」展 授賞式の開催
- ・ 2018/12月 「ART of 8K ～テクネ 映像の教室 in 東京藝術大学～」の開催
- ・ 2018/11/27 第13回「藝大アートプラザ大賞」授賞式の開催
- ・ 2018/12/8 藝大ヘッジー4・植樹ワークショップを実施
- ・ 2018/12/14 敦煌研究院と「学術交流協定」及び「文化財共同研究に関する覚書」を締結
- ・ 2018/12/19 香川県と連携・協力に関する基本協定を締結
- ・ 2019/4月～ 東京藝術大学 映像研究科 ゲームコース開設

（受賞等）

- ・ 2018/12/10 渡邊健二教授（音楽学部・ピアノ）がハンガリー国功労勲章贈呈

（要人来学実績他）

- ・ 2018/11/2 中村裕之文部科学大臣政務官らが本学を視察
- ・ 2018/11/14 河野外務大臣夫人と駐日大使夫人及び外交官配偶者らが本学を視察
- ・ 2018/12/17 ホンジュラス共和国パルマ駐日大使による表敬訪問
- ・ 2018/12/17 ウズベキスタン共和国ファジーロフ駐日大使が藝大COI 拠点を視察

#### ※懇談事項

◎ 新たな取組、今後の課題等について

「2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて」及び「日本博」について、本学における現在の動勢の報告を行った。

（学外委員からのご助言、ご提言等）

- 予算配分指標の1つである「若手教員比率」について、藝大が他大学と同様な指標で毎年評価配分されるのはナンセンスであり、藝大の特殊性を訴えていくべきではないか。
- 藝大は日本の大学の中でも様々な活動でグローバル化（海外関係機関との交流等）を推進されているが、一方でSGU予算等が削減傾向となっていることについて、藝大が先頭に立って芸術・文化の必要性を強く要求していただきたい。
- 2020年のオリ・パラに、USCとのプロジェクトのような音楽とアニメのコラボは有効なものではないか、邦楽とアニメのコラボも展開としては魅力的ではないか。また、留学生を積極的に参画させるよう仕組みを作ったらどうか。
- オリ・パラ終了後の施設の活用で藝大が関われる部分があるのではないか。
- 日本の大学評価基準のルール作りについて、藝大が自ら自信のあるものを作り上げていくことが必要だが、自信を持っているものについては積極的に見直しの提言をしたらどうか。
- USCとのAI技術を使った音楽とアニメのコラボの報告があったが、AIを使いながら将来の人々の夢の実現に繋げていくプロセスは確立されていないので、芸術を加味しながら藝大が世の中の先頭に立つことができれば非常に意味のあることだと思う。
- 「日本博」は異文化交流の面も必要であると思われるため、留学生を活用した企画を提案願いたい。
- USCとのプロジェクト成功によって、今後更なる交流が望めるのではないか。
- オリ・パラや日本博への参加も重要だが、本来の藝大の方向性を見失わないようにしていただきたい。

#### ※その他

- 小寺千住校地事務センター事務長より、配付資料「音の間」、「アサダワタル千住タウンレーベル試作品発表会 Vol.2」、「フィリパピポ！！ザ・ファイナル」、「大学院国際芸術創造研究科修士論文発表会 2019」の報告があった。
- 北郷学長特別補佐及び日比野美術学部長より、配付資料「UENOYES」の報告があった。
- 日比野美術学部長より、配付資料「Diversity on the Arts Project」の報告があった。